

2002年度 Block. 6

課題 No. 7

「尿が赤くなっている」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害とありますのでご注意ください。

シート 1

「研修医の麻子さんは麻酔科当直です。ただいま午前3時、腹腔内出血の緊急手術が入りました。」そう、真夜中のあの緊急手術で尿が赤くなっていたのです。患者さんは麻酔リスク 1E の川合一郎様(42 歳)でした。全身麻酔の導入はスムーズに進み、手術も順調に始まり、バイタルサインも安定していました。そして術野から「早くその血管を結紮しろ」との声が聞こえ、まだまだ出血が続きそうだったので麻子さんは看護師さんに輸血の準備を頼んだのです。

[真夜中の緊急手術]

[抽出を期待する事項]

腹腔内出血	-----	A-4
輸血の準備	-----	A-4
尿が赤くなっている	-----	A-1、B-1
バイタルサイン	-----	A-1

シート 2

外科医が輸血部で交叉試験をしてきた輸血を看護師さんが「カワイイチロウさん、B型(+)」と言って輸血ラインに繋ぎました。この時麻子さんは頻回の血圧測定と昇圧薬の準備をしながら「はい」と返事しました。輸血が十分に投与されたにも拘らず、血圧は不安定で、術野での出血も止りにくそうでした。麻子さんは尿量を確認しようとして尿が赤くなっているのに気がついたのです。

[抽出を期待する事項]

- 交叉試験-----A-4
- 看護師さんが「カワイイチロウさん、B型(+)」と言って、麻子さんは「はい」と返事しました-----B-3
- 頻回の血圧測定と昇圧薬の準備、血圧は不安定-----A-1 (C-4)
- 尿量、術野での出血-----A-1 (C-4)
- 尿が赤くなっている-----A-1、B-1 (C-4)

2002-B6-T2-VII
尿が赤くなっている

2002-B6-T2-VII
尿が赤くなっている

シート 3

ふと輸血パックを見ると、A型の黄色の緑のシールの貼られている輸血パックが繋がっているのに気づきビックリしました。輸血の入っている袋に入っている黄色いカードには「河井市朗殿、A型 Rh(+)」と書かれていました。麻子さんはすぐに輸血を中止し指導医に報告しました。川合さんには異型輸血の治療を開始され、手術終了時には赤い尿が続く他には異常所見は認められませんでした。家族には受持医が説明し、麻子さんはインシデント・アクシデント報告書を書く事にしました。

[抽出を期待する事項]

- A型の黄色の緑のシール、黄色いカード-----B-3
- 輸血を中止、治療を開始-----C-4
- 赤い尿-----B-1、C-1
- 家族には受持医が説明-----A-3、B-4
- インシデント・アクシデント報告書を書く-----A-2、B-2
- 指導医に報告-----A-2、A-3、B-2

シート4

輸血部では血液学的検査が進められています。看護師さんも交叉試験をした外科医もインシデント・アクシデント報告書を書き医療安全対策室に提出しました。麻子さんはどうしてこんな事になってしまったかを考えてみました。また、他科の同級生にも偶発症の経験について聞いてみました。投薬を間違いそうになりインシデント・アクシデント報告書を書いた友人がいました。私達の書いた報告書はどのように扱われているのだろうか、患者さんが死亡した場合はどうなるのだろうか？と話し合いました。川合さんは腎不全も起こさず無事退院したのですが、本人や家族と病院との話し合いは続いている様です。

[抽出を期待する事項]

- 血液学的検査-----C-4
- 医療安全対策室-----B-2、B-4、C-2
- インシデント・アクシデント報告書-----A-2、B-2
- 本人や家族と病院との話し合い-----A-3、B-4
- 患者さんが死亡した場合はどうなるのだろうか-----C-3